

会 見 年 月 日	令和 4 年 6 月 3 日 (金曜日)
担 当 課	消防本部 警防課
問い合わせ先	電話：43-6883 (内線：5204) FAX：45-0119 (担当者名：笹井)

## 株式会社 MORESCO 赤穂工場との合同消防訓練実施について

### 趣 旨

危険物安全週間の一環として、火災発生時の初動対応、被害の拡大防止、消火技術の向上、防災意識の高揚と危険物貯蔵取扱事業所である株式会社 MORESCO 赤穂工場との連携を図り、災害対応の強化に努めることを目的とした実践的な訓練を実施します。

### 1. 日 時

令和 4 年 6 月 9 日 (木) 9 時 0 0 分から 1 0 時 0 0 分まで

### 2. 場 所

赤穂市鷗和 6 4 1 番地 株式会社 MORESCO 赤穂工場

### 3. 訓練想定

第 2 生産棟 1 階の稼働中の攪拌機付きタンクで、攪拌機回転軸から発生した火花が内部の危険物に引火し爆発が発生。付近に貯蔵していた危険物 (引火性液体) に引火、火災が延焼拡大したもの。なお、従業員 1 名が逃げ遅れ、3 階部分に取り残されている。

### 4. 訓練参加機関

赤穂市消防本部	消防車両	9 台	2 6 名
株式会社 MORESCO 赤穂工場	従業員		5 2 名

### 5. 訓練内容

- (1) 指揮本部設営及び情報収集訓練
- (2) はしご車、大型化学車からの放水訓練
- (3) はしご車による要救助者救出訓練

### 6. その他

小雨決行。荒天により訓練を中止する場合は、訓練当日の午前 8 時 3 0 分までに決定します。

# 株式会社 MORESCO 中隊訓練実施計画

- 1 訓練目的 危険物安全週間をむかえ事業所における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、株式会社 MORESCO との密接な連携を図り、自衛消防隊との実践的な連携体制の確立、技術の向上を目的とし合同訓練を実施する。
- 2 日 時 令和4年6月9日(木) 9:00～10:00
- 3 場 所 赤穂市鷗和641番地 株式会社 MORESCO 赤穂工場
- 4 参加車両 可搬積載車(赤穂20)、司令車(赤穂21)、査察車(赤穂22)、救急車(赤穂26)、はしご車(赤穂27)、ポンプ車(赤穂29)、大型高所放水車(赤穂31)、大型化学車(赤穂32)、泡原液搬送車(赤穂33)、計9台 26名
- 5 訓練想定 第2生産棟1階、稼働中の攪拌機付きタンクで攪拌機回転軸から発生した火花が内部の危険物に引火、爆発が発生。それにより、付近に貯蔵していた潤滑油に引火し延焼拡大したもの。なお、従業員1名が逃げ遅れ、3階に残されているもの
- 6 活動内容 指揮隊 司令車(赤穂21)  
事業所の指揮本部で災害状況を聴取し、各隊に活動方針を下命する。  
  
第2小隊  
第1分隊 大型高所放水車(赤穂31)  
屋外タンク付近に部署し、赤穂33から中継送水を受け梯上放水を実施する。(南側海へ放水)  
第2分隊 大型化学車(赤穂32)  
屋外タンク付近に部署し、赤穂29から中継送水を受け放水銃からの放水を実施する。(南側海へ放水)  
第3分隊 泡原液搬送車(赤穂33)  
赤穂31後方に部署し、赤穂31へ中継送水を実施する。  
第4分隊 ポンプ車(赤穂29)  
ユーティリティー棟付近の90m<sup>3</sup>防火水槽の送水口に部署し、赤穂32へ中継送水を実施する。

#### 第1小隊

##### 第1分隊 はしご車(赤穂27)

第2小隊の消火活動により火勢鎮圧した後、第2生産棟西側に部署し、3階から逃げ遅れ1名を救出する。

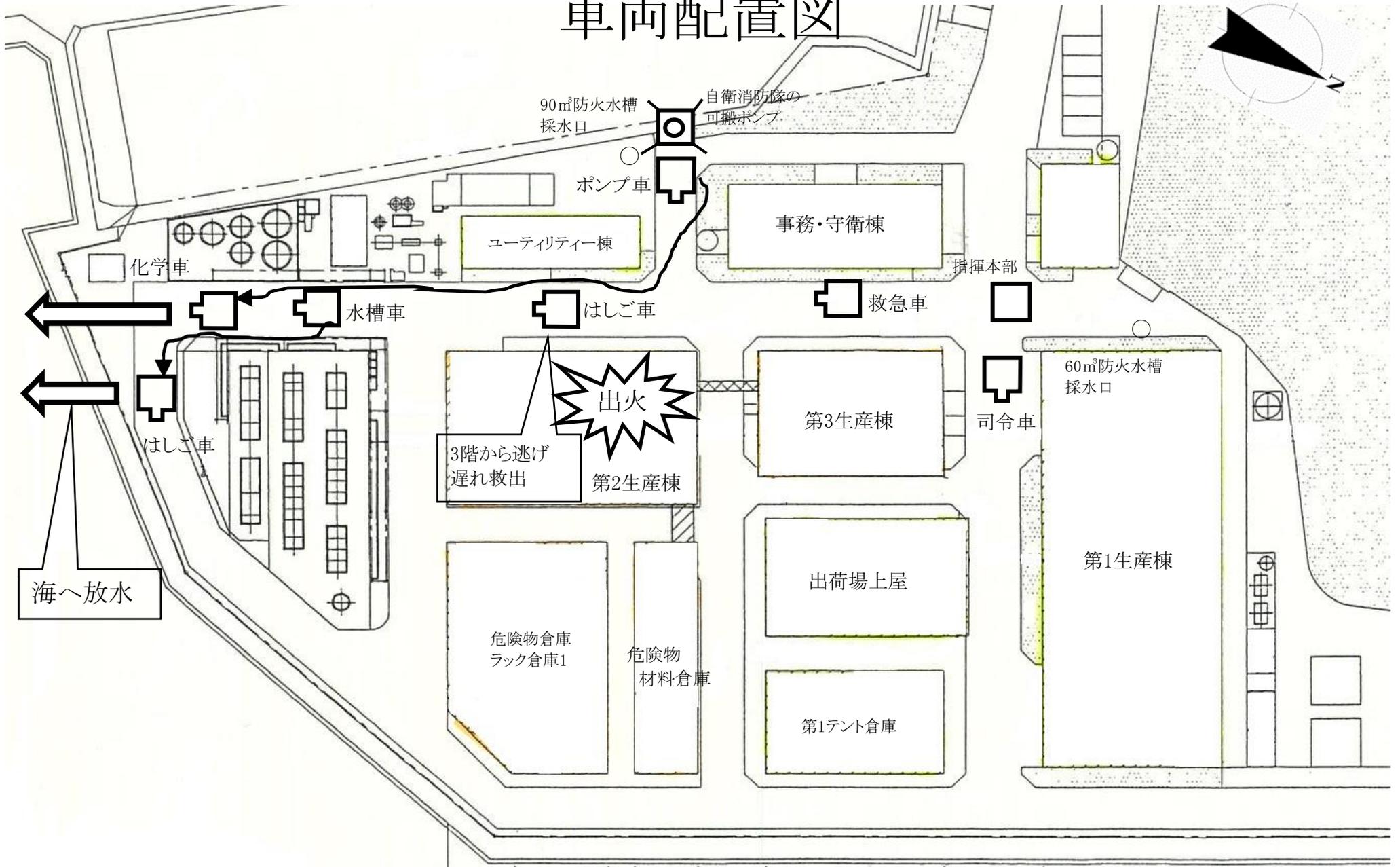
##### 第2分隊 救急車(赤穂26)

赤穂27の活動により救出された傷病者を車内収容し、病院へ搬送する。また、救出までの間は負傷者の確認、指揮本部の補助にあたる。

#### 7 その他

- (1) 大型高所放水車(赤穂31)、大型化学車(赤穂32)は、出火建物(第2生産棟)に放水できないため、南側海へ放水すること。
- (2) 小雨決行。荒天により中止する場合があります。

# 車両配置図



# 車両待機場所

